



葉の表面に紫色のまだらがある。花被片は6枚あり紅紫色、鱗茎は地下10~15cm位にある。この鱗茎からとったデンプンをカタクリ粉という。カタクリの名は花の形が背負うカゴににていることから、カタカゴよりかわってカタクリとなったとか。
 花期 4~5月 草たけ 10~20cm 生育地 林の中,林のへり

かたくり
 (ゆり科)

○かたくり粉は滋養食として用いられる。

葉はすべて根生、3~9枚の小葉を羽状につける。キジのすわるむしろの意。

花期 4~5月

草たけ 10cm

生育地 山野の草地

きじむしろ(ばら科) ▶

